

SDGs 達成のための ESD 担い手育成事業(2018 年度)

この事業は、地域リーダーが地域版 ESD プログラムづくりをしながらお互いに育ち合う活動を通して、千葉県内に地域 ESD リーダーを育成していく活動です。

1 年目の 2018 年度は、環境省の「ESD モデルプログラム」を元に、まずは ESD の視点を学び、リーダー自身が既に使っている環境学習プログラムを、ESD の視点を入れたプログラムとして見直していく方法で実施しました。

7 月 19 日は、グループ「地球温暖化・水・資源循環・生物多様性」ごとにモデルプログラムを地域版 ESD プログラムにするワークをしていただきました。

9 月 18 日には、1 ヶ月の間にグループ単位で集ったり、メールで意見交換しながら修正をして、地域版 ESD プログラムとして発表しました。その午後には、SDGs プラットフォームを検討するメンバーにも聞いていただき、ご意見をいただきました。また、この回よりファシリテーターとして石井雅章氏（神田外語大学）に参加いただきました。

11 月 26 日に、グループでプログラムのブラッシュアップの後、プログラムづくりから課題になった「学習者が習得できる ESD の視点」について、全員で意見出しをしました。また、プログラムのフォーマットを全員で検討しました。

このフォーマットに各々が内容を入れて、1 月 21 日にはみんなでふりかえり、「ESD の視点を入れたプログラム」を更に検討しました。

2 月 8 日には「地域リーダーが作った ESD プログラムガイドブック」素案出しをして、参加者が意見を出し合い、まとめたものが今年度の成果物であるこのガイドブックになります。

このガイドブックの中「ESD モデルプログラムづくりの流れとプログラムシートの読み方」で、ファシリテーターの石井雅章氏が、「ESD プログラムは与えられるものではなく、目の前にいる学習者と持続可能な社会づくりを結びつけるために、自分たちで考え、実践しながら、更新していくものと言えます。」と書いておられます。来年度実施を予定している千葉県北部の ESD 地域リーダー育成にも活用が期待されます。

ニュースレターの中の 2 面 3 面を使って、13 人リーダーの 15 プログラムの概要を一覧で載せています。文字が小さく読みにくいかもしれません。ガイドブックが見たいと思ってくださった方には、メールでお送りできますので、お申し出ください。また、皆さんで練り上げたプログラムのフォーマットも書き方付きで 4 面に掲載していますので、参考までにご覧ください。

来年度、再来年度の ESD 担い手育成事業にもご協力のほどよろしくお願いいたします。

発行：特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば <http://kanpachiba.com/>

この事業は、地球環境基金の助成を受け実施しています

